

情報連絡員報告

(令和8年6月期)

情報連絡員 30名

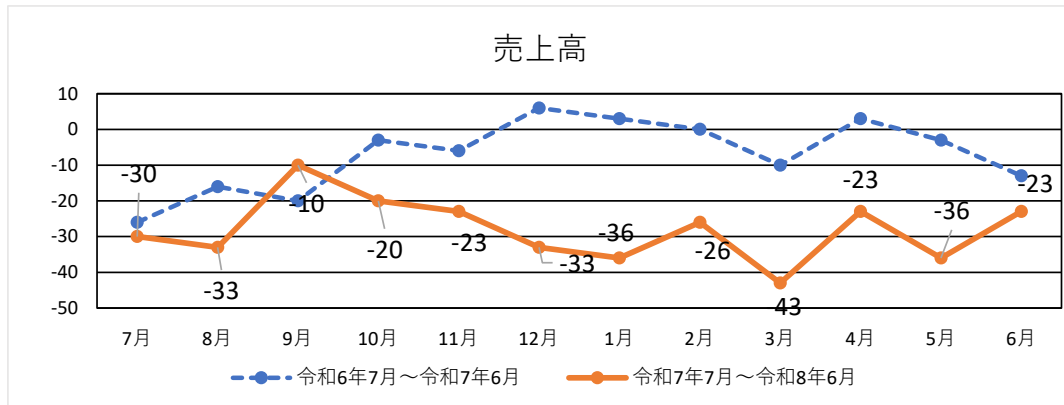
回答者数 30名

全体概況

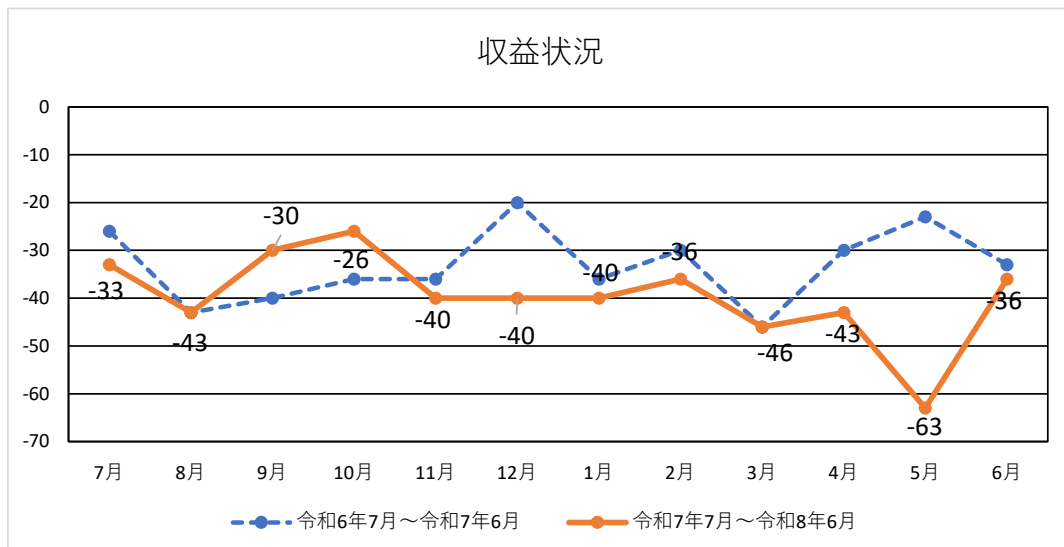
DI値は、前月と比較して、売上高は13ポイント改善、収益状況は27ポイント改善、業界景況は4ポイント改善となった。

1 主要3指標DI値推移

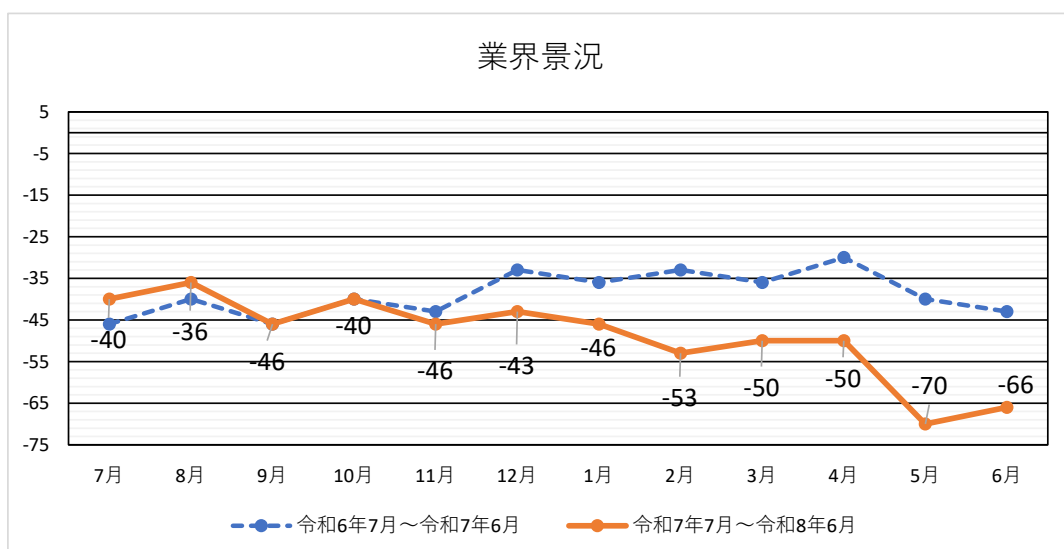
(1) 売上高



(2) 収益状況



(3) 業界景況



2 前年同月比の業種別景気動向

(DI値)

		売上高	収益状況	業界景況
製造業	食料品	↓	↓	↓
	木材・木製品	↘	↘	↓
	出版・印刷	↓	↓	↓
	窯業・土石	↑	↑	↓
	鉄鋼・金属	↑	→	→
非製造業	卸売	↓	↓	↓
	小売	↓	↓	↓
	商店街	→	↓	↓
	サービス	→	↘	↓
	建設	↘	↘	↓
	運輸	↓	↓	↓



(30以上) (10～30未満) (△10～10未満) (△30～△10未満) (△30未満)

※DI値＝[(増加・好転組合数－減少・悪化組合数)／調査対象組合数]×100

※網掛けについては、特に悪化した項目

報告者名

宮崎県中小企業団体中央会

報告年月

令和8年6月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	木材・木製品	製材業	ナフサショックにより、あらゆるものが値上がりした。今後は新築住宅の需要低迷が予想される。需要が落ち込む中で、値上げを顧客にどこまで受け入れてもらえるか、先行きに不安を抱えている。
	木材・木製品	製材業（プレカット）	6月の生産量は前年同月比18%減、4～6月期も前年同期比14%減となった。金利上昇やナフサショックによる建築資材の高騰は未だ続いている。住宅取得者が一定の所得層に限られ始めている印象があり、大手ハウスメーカーの底堅さもそれを裏付けている。注文住宅から分譲住宅へ流れる層も一定数いるため、動向を注視し受注機会をうかがう必要がある。
	木材・木製品	木製品製造業	建築資材や原材料などの高騰により、やむを得ず販売価格が上昇している。リフォームも価格が上昇しているため、景況は良くない。
	印刷	印刷・同関連業	宮崎市内において、県外業者と複数年契約が結ばれたとの情報があり、現在確認中である。これが事実であれば、地域産業の育成につながるのではないかと懸念している。
	印刷	印刷・同関連業	ナフサ不足の影響で一部の原材料が入手困難になっている。原材料費の高騰と併せて深刻な問題である。ただ、社会全般に値上げを容認する空気感があるため、印刷製品の値上げについても早急に対応していきたい。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	四半期が終わり、出荷減の予想通り、予算の進捗状況は順調である。新物件の情報はちらほら入るが、現時点で大きな案件となりそうなものはない。
	窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業	出荷数量は前年同月比118.8%、累計で99.3%となった。7月以降も前年度からの繰越案件や新規物件が多く、上半期は安定した出荷が望めそうである。
非製造業	卸売業	卸商業	5月より少しずつ物件が動き出した気配はある。設計事務所から公共工事の8月以降着工物件に関する設計見積もり依頼が増えているが、5月と同様に資材メーカーからは値上げの案内が届いている。
	小売業	機械器具小売業	中東情勢の影響は依然として続いており、ナフサやオイルの供給不足は深刻な課題である。仕入れ状況は組合員ごとに差が見られ、安定価格で仕入れができていない者がいる一方、仕入れ価格が従来の約2倍に上昇し苦慮している者もいる。また、危機管理として早期に在庫を確保した組合員もあり、影響の度合いは様ではない。中古自動車の仕入れは価格高騰が続いており、思うように買い付けができないため、組合員の在庫車両は減少傾向にある。さらに市場全体の動きも鈍く販売が低迷しており、業況は総じて厳しい状況が続いている。
	小売業	石油販売業	イラン情勢の影響による石油製品の供給は落ち着いている。価格面も政府の補助金により安定している。ただし、潤滑油は一部の製品で品薄状況にあり、価格も大幅に値上がりしている。
	小売業	LPGガス小売販売業	6月の合成CP価格（サウジ通告価格）は755.0ドル/トン（前月比+5.0ドル/トン）である。5月のMB価格（米国産平均価格）+物流経費（90ドル/トン）は518.0ドル/トン（前月比+27.0ドル/トン）である。対顧客電信売相場（5月平均）は159.38円/ドル（前月比△0.95円/ドル）である。イランの核をめぐる問題についての米国とイランの主張は対立が続くものの、停戦延長とホルムズ海峡の正常化へ向けて動いているという楽観的な見方により、原油価格は下落した。LPG価格も連動した動きになるとの予想があったが、それに反して微増となった。
	商店街	延岡市	商店街全体で、消費低迷、物価高騰、人件費の高騰、人材不足の影響が続いており、毎月の売上などが前年比を下回っている。
	商店街	宮崎市	引き続き物価高（特に食料品）の影響により、取扱商品である衣服や繊維製品に対する購買力が非常に弱い。
	商店街	都城市	連休が終わり、通常の6月に入った。雨の日が多く屋外イベントが開催できないことも多かった。台風の接近もあったが大したこともなく安堵した。一方で、戦争による原材料高騰から始まった品不足は深刻化している。特に石油由来商品の値上げが相次ぎ利益を圧迫している。安定した供給を望むが、一度上がった値段が下がるのだろうかと不安が尽きない。
	サービス業	観光業	春の繁忙期である6月だが、物価高騰などの影響でツアー旅行が極端に減り、大変厳しい6月期であった。

報告者名
報告年月

宮崎県中小企業団体中央会
令和8年6月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
	サービス業	自動車整備業	今月は前年並みである。例年在庫台数が少ない月であるが、前年並みを維持できたことで安心した。
	サービス業	自動車車体整備業	一部の材料で、まだ入荷しにくいものがある。
	サービス業	自動車運転代行業	6月の業況は、ボーナスの支給も始まり繁華街への人流は増加傾向にある。しかし、6月に既に台風が2つ接近し、その前後の人流は減少した。今年は台風の発生が多発するという予測もあり、大きな影響がなければ良いと願っている。
	建設業	管工事業	ナフサ不足の影響および物流コストの高騰から、あらゆる資材価格の値上げが波及しており、利益を圧縮している。
	建設業	建設業	5月に続き、生コンクリートの売り上げ数量が前年同月比3.7倍に伸びた。4～6月の取引量で前年上半期の数量を超えている。販売価格は一律で1立方メートルあたり1,000円上昇したが、これは生コン組合からの仕入れ値上昇分を転嫁したものであり、収益が改善されるわけではない。現段階では、すべての月で取引数量が増加するかどうかは判断を許さない。
	運輸業	軽貨物運送業	6月度は梅雨時のため引越し等の問い合わせが少なく、荷動きも閑散としている。燃料関係は若干下がってきたものの、生活用品や食料品の値上がりが組合員の生活を圧迫している。相変わらず人手不足で新規開業者の問い合わせもなく、高齢化も深刻であり、この先の見通しが立たない。
	運輸業	貨物運送業	原油価格は、和平交渉の不透明感から下値は支えられるものの、中東からの供給正常化への期待から大幅に下落すると見られる。しかし国内価格については、元売りのコストが減少傾向にある一方で、政府の補助金支給額が大幅に減額される見通しである。そのため次回改定幅は相殺される形で小幅に上昇する見込みであり、組合員は不安を抱えたまま事業を運営している。